

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和4年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
北海道の厳寒期での緊急減災施設施工を可能とする寒冷地用砂防ソイルセメント工法の開発 (研究期間：R4年度～R6年度)	北海道大学農学研究院 特任教授 山田孝	A
<p><研究概要></p> <p>樽前山直轄砂防事業の現場において、現地発生土砂を活用した厳寒期用ソイルセメント工法の開発が求められている。ソイルセメント配合時のワーカビリティを確保でき、相応の強度が得られること、従来のブロック積よりも短い工期で施工できることなどがポイントとなる。そこで、厳寒期用ソイルセメント中詰めトンパック製作手法を開発し、それを活用した緊急堤やセルダム開口部緊急閉塞工を提案する。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究では、寒冷地での緊急減災対策として活用が期待される厳寒期用ソイルセメント中詰めトンパック製作手法について、現地発生土砂を用いた試験施工を行い、その特性と活用方法を明らかにしたことは、北海道や北日本での活火山への適用の観点から大いに評価出来る。</p> <p>今後は、コンクリートブロックを用いた従来の工法との施工性やコスト比較等を行い、融雪型火山泥流等が懸念されている他火山への適用も視野に実用化に向けた検討を進めていただきたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い